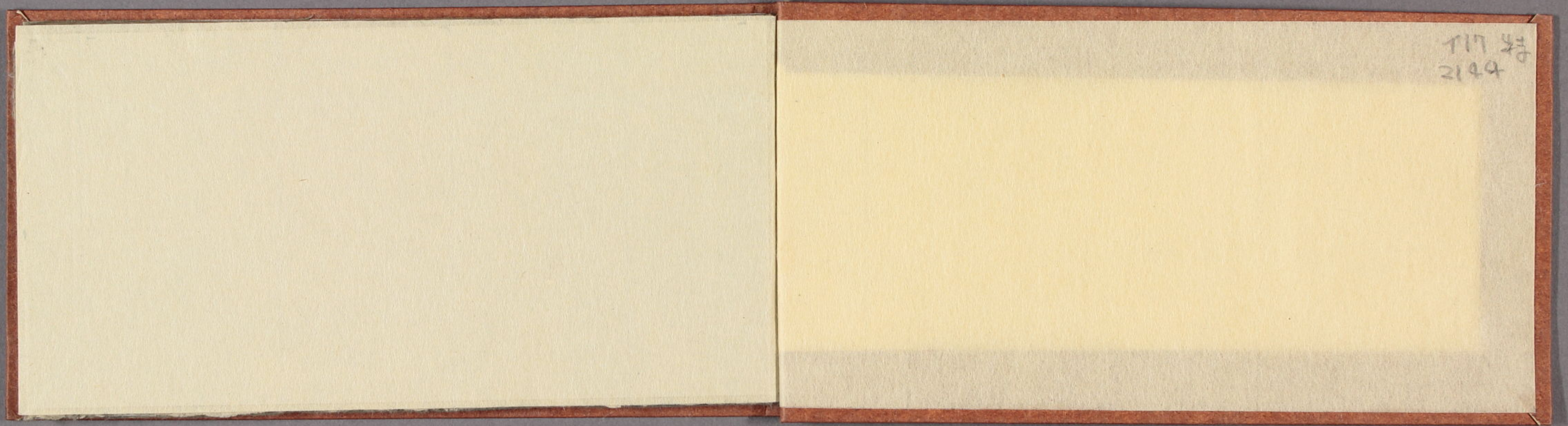
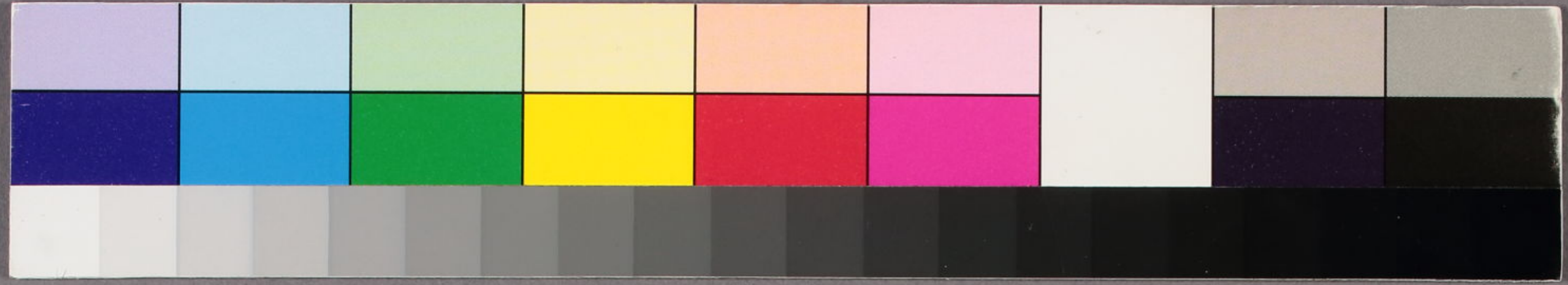


漢詩抄記

服部文庫
イ 17
2144





陪鄭廣文遊何將軍山莊

不識南塘路，今知第五橋。
名園依綠水，野竹上青霄。
谷口舊相得，涼梁同見
石。平生為出處，未惜馬蹄遥。
林上喜連屋，階前樹掛雲。
將軍不好武，稚子總不醒。
酒微入，詩詩靜夜分。錦衣
挂，苗薜涼月白紛紛。
坐之忽不覺，歸期無奈何。
出門流水往，回首白雲多。
自笑燈前舞，誰憐醉後歌。
歌罷應與朋，好雨亦來過。

夜宴左公莊

風吹鐵月落，夜露淨琴張。
暗水流花經香墨，帶草堂。
檢書煖燭短，看劍引金囊。
持罷與吳，冰前舟意不長。

題韓公府水亭

結福幽禪寺，佳期不寄思。
名亭當竹苑，花徑綠松池。
山水氣澄碧，苔蘚陰覆坐。
知武職清，宛在市朝間。

尋春訪友人郊莊

郭嘉

中野入晴靄，東莊謝積陰。
到來棲隱處，共見避塵心。
酒熟花殊好，人閑春自深。
黃鸝似不厭，勸我報清音。

盛夏飲九峽後池亭得原

川前橫缺地，臺上避塵情。
成坐暑路，池邊高涼控樹生。
冰紋依筍冷，玉屑對簪明。

松菊疑而

子歎驚眠山而漫枕意更莫狀
其不子意忽又月如月松菊
崢嶸之何意也

西郭觀獵

翻一使少共爭先以箭逐飛鴨
看月如射者而郭古十是蒼
其意不獨得之而已

自述上道故人

途危直置所思長難奈故人的故
聞中稚子看君到會皇走日相尋序
言月懷友

相中夜宵月年一照以國後為然
白髮意下第多移月是進人可交
後談誰共論停亞頻想依及影遠空

三登碧峰望之樓云月香一男日直
置妙年所思為情友在至孫亭然

甲午抄錄

甘酒酒子以付法合身縱飲星逃
世不取於其去誰云就一不自
不天意

城門春歌

莫荷

珠走馬歇倚高橋上苑回看花年流
蕙草雲當金翻落滄溟時鏡紫垣浮
管弄歲安分宮樹果之千映街溝
客裡却欣留滯久春几無日不豪遊

早春過城門

重門微及限金堤武衛連廬粉堞西
日暖華林芳欲轉几輕沙苑馬齊嘶
相逢公子皆吟玉應笑幽人獨杖藜
迴望酒旗飄郭外歸途好是醉如泥

春晚

春樹簾櫳外管聲落枕中枝倦坐自近
非是假東風

早起云電

電之搖晴落月沈何人昨夜下山陰
本縱欲得孤棹窮巷應迷叢桂澤

江橋望電

江天電走雲千彩相勸日乘杯春不但
疑華深照映由來如不倚橋人

海樓望電

船降平子影可不一身心倚拍岸城層臺
看難凡之舟每船亂電片如帆拂檻來

春夜曲

春夜花影衣杜曲宿二月三月不歸春胡姬
相照連壇坐如殺隣未能醉下

陌上春人映酒旗
王孫馬踏遍華
絲管吹白日
數系在垂楊樹
認得長楊後
春思

多接
人物春不
早春牛
郭門
歌裏
江東
此無
年一
蝶西
日野
共是
早春
紫陌
風毛
共指
最嫌
宿中
春香
聲冷

郭門
歌裏
江東
此無
年一
蝶西
日野
共是
早春
紫陌
風毛
共指
最嫌
宿中
春香
聲冷

郭門
歌裏
江東
此無
年一
蝶西
日野
共是
早春
紫陌
風毛
共指
最嫌
宿中
春香
聲冷

郭門
歌裏
江東
此無
年一
蝶西
日野
共是
早春
紫陌
風毛
共指
最嫌
宿中
春香
聲冷

郭門
歌裏
江東
此無
年一
蝶西
日野
共是
早春
紫陌
風毛
共指
最嫌
宿中
春香
聲冷

郭門
歌裏
江東
此無
年一
蝶西
日野
共是
早春
紫陌
風毛
共指
最嫌
宿中
春香
聲冷

郭門
歌裏
江東
此無
年一
蝶西
日野
共是
早春
紫陌
風毛
共指
最嫌
宿中
春香
聲冷

郭門
歌裏
江東
此無
年一
蝶西
日野
共是
早春
紫陌
風毛
共指
最嫌
宿中
春香
聲冷

郭門
歌裏
江東
此無
年一
蝶西
日野
共是
早春
紫陌
風毛
共指
最嫌
宿中
春香
聲冷

郭門
歌裏
江東
此無
年一
蝶西
日野
共是
早春
紫陌
風毛
共指
最嫌
宿中
春香
聲冷

郭門
歌裏
江東
此無
年一
蝶西
日野
共是
早春
紫陌
風毛
共指
最嫌
宿中
春香
聲冷

郭門
歌裏
江東
此無
年一
蝶西
日野
共是
早春
紫陌
風毛
共指
最嫌
宿中
春香
聲冷

郭門
歌裏
江東
此無
年一
蝶西
日野
共是
早春
紫陌
風毛
共指
最嫌
宿中
春香
聲冷

不百中山千口... 入元...

已裁... 求... 瓊... 烟... 香...

待... 人... 醉... 歸... 徒...

疎... 而... 卻... 能... 任... 得... 到... 更... 驚... 歌... 隊... 以...

何... 本... 明... 月... 照... 第... 一... 捲... 幔... 天... 河... 接... 紫... 垣...

更... 為... 障... 千... 傾... 數... 石... 之... 是... 燭... 滅... 金... 盃...

長... 安... 一... 片... 月... 明... 秋... 思... 淨... 寒... 簾... 倚... 翠... 樓...

浮... 空... 間... 萬... 戶... 蒸... 雲... 結... 錦... 文... 傳... 北... 信... 不... 知... 何... 日... 到...

同... 人... 良... 欣... 此... 樽... 未... 既... 月... 仰... 遙... 共... 深... 思...

何... 妨... 醉... 玉... 杯... 不... 惜... 斯... 時... 輪... 影... 以... 淡... 清... 光...

空... 山... 行... 不... 盡... 數... 里... 入... 烟... 霞... 洞... 壑... 春... 光... 遍... 藤... 蘿...

此... 野... 秋... 支... 好... 候... 園... 趣... 已... 成... 不... 知... 霜... 露... 冷... 但... 愛... 西...

野... 水... 冰... 殘... 至... 蕭... 條... 籬... 落... 北... 徑... 霜... 履... 作... 痕... 堤... 樹... 不... 留...

投... 跡... 蒼... 蒿... 煙... 野... 暗... 田... 向... 亦... 見... 歲... 功... 成... 園... 林... 改... 色... 秋... 將... 盡...

但... 言... 樽... 散... 從... 吾... 拙... 禱... 程... 福... 應... 須... 先... 偶... 耕...

山居秋暝

蕭蕭木葉下空林。秋暝山中霜露深。日暮前

溪何所見。梅支歸去白雲陰。

田子秋詞

五畝田廬秋興多。人烟橘柚接前坡。請看豐

稔嘉禾頌已入村童牛背歌。

秋夜長

空園耿耿思難禁。轉覓天涯霜露深。征婦五

更眠不得秋。尺偏自促寒砧。

望月懷遠

海上生明月。天涯共此時。情人怨遙夜。竟夕起相

思。滅燭憐光滿。披衣覽露滋。不堪盈手贈。還

空覆夢佳期。

秋夜望月

明月有餘鑒。羈人殊未安。桂含秋樹晚。影入夜池

寒。灼灼雲枝淨。光光草露團。所思迷所在。長望

獨長嘆。

天上秋期近。人間月影清。入河蟾不沒。搗藥

兔長生。只益丹心苦。能添白髮明。于戈知滿局。休照

團西營。

初月

支細弦欲上。影斜輪未安。微竹古塞外。已隱

暮雲。獨河漢不改色。南山空自寒。庭前有白

露。暗滿菊花團。

十七夜對月

秋月仍圓夜。江村獨老身。捲簾還照客。倚

杖後隨人。支射潛虬動。明翻宿鳥頻。茅齋

依橘柚。清切露華新。

野居池上看月

悠然雲間月。後此照池塘。法露蒼苔苑

濕。沈波澹澹光。應門當未曙。歌吹

滿昭陽。遠近徒傷目。清輝霽靄自長。

夏晚竹飲

此處宜酣飲。出戶竹中陰。堪憐晚

日嘯。足起涼風翠。侵杯瓜。炎氣掃

坐空。愁昔劉。千古意。應與我。曹同

可接地。竹。

爽子。可接地。竹。

到依。走。巖。淨。持。負。子。其。子。猿

常。漱。霜。半。石。侵。古。齋。初。出。性

甘。寂。苦。澁。此。竹。之。疆。

海。一。相。與。

海。一。相。與。

海。一。相。與。

海。一。相。與。

海。一。相。與。

海。一。相。與。

修文子生碑志銘

送玉泉安道士從聖護王歷登和
紀二列諸名山

聖護皇孫帝寵親奉詔展祀諸
嶽神門下是方術士豈讓鴻
寶苑中人虔卜吉辰筮錄圖涼
秋七月發京都朱郎曉開初日
下寶螺一聲振九衢百千黃
冠分國簿緹衣秉鉞引前驅
鱗魁逃跡潛陰洞百靈相迎寺
崎嶇霓旂風旆披雲上履險踰
沾如坦途大峯昔城竣事後息徒
且酌流霞酒晨漱華丹度石梁遂
入紀國登龍阜相傳稱福庭未
兼昔昔人所壽者三山高揭三閩宮瑞
雲祥烟繞扁牖仰觀瀑布懸半天
湍流雷奔衝峽口取道黃陸下層崖
從是回軫到南陸樓船波穩明光浦
行寒蕙蘭吊瑤姬此行從未禮典
盛往還儼然具羽儀毛列道士安吉
父天性奇茲深高京今玉泉觀中蓄
思深興到珠磯閑口吐還輕塵伏
羽流詩韻直將樹李杜先事
兼命隨鶴駕駁奔方里非隘子

祭不唯接神仙勝情佳喜問山詩
賦爭長八公輩後乘載筆獨副
應教非君擢楚材新翻送送誰
復裁。慎

秋夜對月憶京師故人

伏枕非因病思人難著眼悲秋應
步月依舊愛披編久別關心切曾
遊入夢偏裁書時有雁好達上
林迴

旅懷

逆旅真無賴燈前孤坐閉飄零
嘆白髮花年再百重山低雁過樓
上暗寒鳴柝聞唯留孤月影永
夜照愁顏

高尾宰筆苦雨不能諸名迹賦

贈麟公三首

等秋多雨洞扉朝待晴空存玄
度具還想景陽情林改鹿麋
跡溪含括栢聲何當披宿霧回望
萬峯清

密雨過三日陰雲擁四隅何人頻
石使我不推乃壺微樹秋烟暗池

蓮晚氣孤久無天肯尚有衲
中珠

房海客中同子文子德過桃源入

居屏上題

門開路盡閣鐘起對漁磯誰道蓬瀛
遠回看島嶼微瑞芝方晴暉儂香自
芳非既醉流霞酒何妨帶月歸

辟畫風詩

白壁披襟處坐來生海風收濤驕忽亂
咫尺渺無躬巨浸連堂上方壺在掌
中一看堪洗耳者畫手奪天工

首春葛葛破齋行寄友人

此行誰駕秋舟下葛陂西山帶寒光
香江分晴色齊懷人知室通回棹
恐途迷好待重來白載樽尋隱樓

登海上樓晚遇雷雨

避暑携樽試上臺波濤一望壯遊哉
午帆西去合藏斜日百里天低晚雷巖
下電當層嶂列裂洲前兩捲怒潮來
醉中還欲探明月海暗飄龍齒未
開

送

逗宿麟公之房日遊放山水欲窮
其幽峻怡然忘及期贈同持子羽

尋僧驟鹿入嵯峨丘壑秋光入靖歌
四望白雲連峽合東來此系氣傍關

多誰言蓮社宗雷在自擬家
况身過遊復相携將樂死深
居必卜巖阿

房州客中宿平子文白雪亭
有詩和答兼示其子息外

停榻安榻遠訪君白沙青草一
陸分登亭共指芙蓉雪倚檻
長看滄海雲榭裡風來燈影
亂月中潮落樽聲聞慙慙猶
自供鎮朱衣又見家兒堪出群

葭原駭望富山獄

日出芙蓉客立馬看三少年人入清
寒紫烟輕繞德人掌白雪長封玉
女壇山嶽巨千家通浦口原頭一
路接雲端寄言此處推漁侶誰
攜流霞供我餐

壬子冬暫歸筑波田廬時
余止酒

五柳依三對主人秋未空負菊花
新牒前無意問家醞坐蒲
條頭上巾

夜雨予子子帛款吉携酒至

積雨沈雲枕下台山隱狂客有
門出醪知就黃墟世貝青眼那
能不倒樽

送滕必大携二所生遊三陽
諸山

相忘游放此身輕險路猶傾曲
笠行更為羊何杖勝具能令立
容恹恹情

寒夜門

開城霜墜夕數一過高樓唯向江
南月應憐天未秋三聲身驚客
夢正夜入鄉愁雲間飛不下音
書何處求

如朋仲英玉函山中有懷
示於故人之作

何一到函關重攀處台山勝
性多入賦逸興稍忘浴後
泉堪掬奴食餘霞可頰徘徊

塵境外揮自忙人間

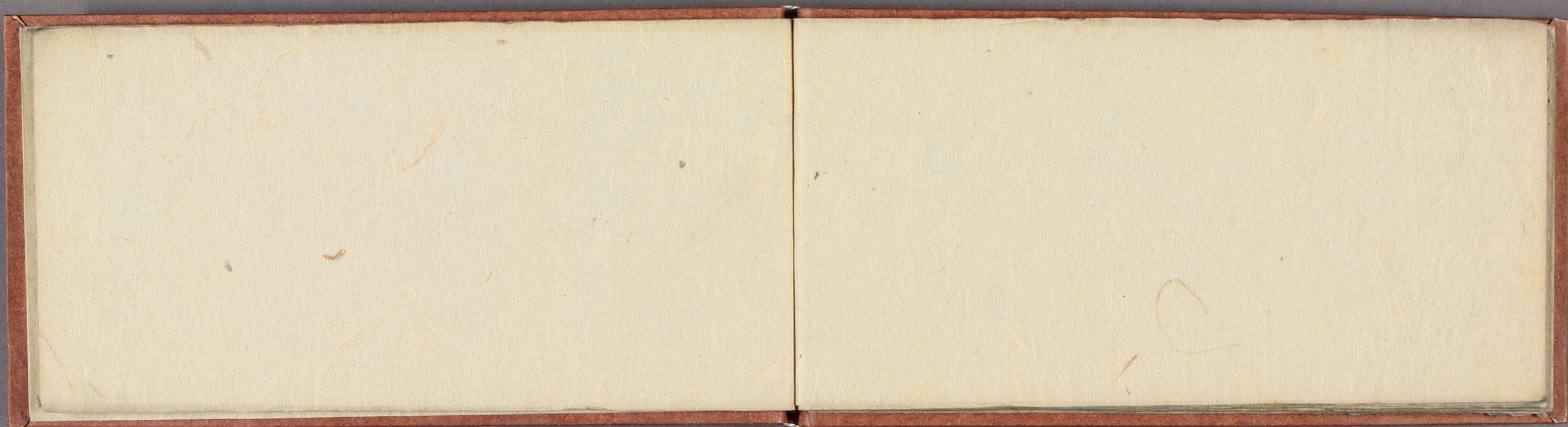
暫養食山巖棲去思
重烟舍山嶽色積五激溪聲
者大名也樵者裁為求友生

山中春已老未敢卜陽程

踰函關

傳道仙翁住此峯玉函敬手
出^三絲^五重路通海驛三千
里地險山河百二封懸雨斜
陽多變態開湖絕頂見靈
蹤矯頭紫氣關門近追得
青牛何處從

上仙在從大守行於雲外
護龍又誰長安括掌上山
色郡邑謳歌父老情



画梅题

一树梅花香不断 玉骨冰肌耐雪寒

梅句

冰蕊轻盈压翠华 清香自是出尘华

冰蕊轻盈压翠华 清香自是出尘华

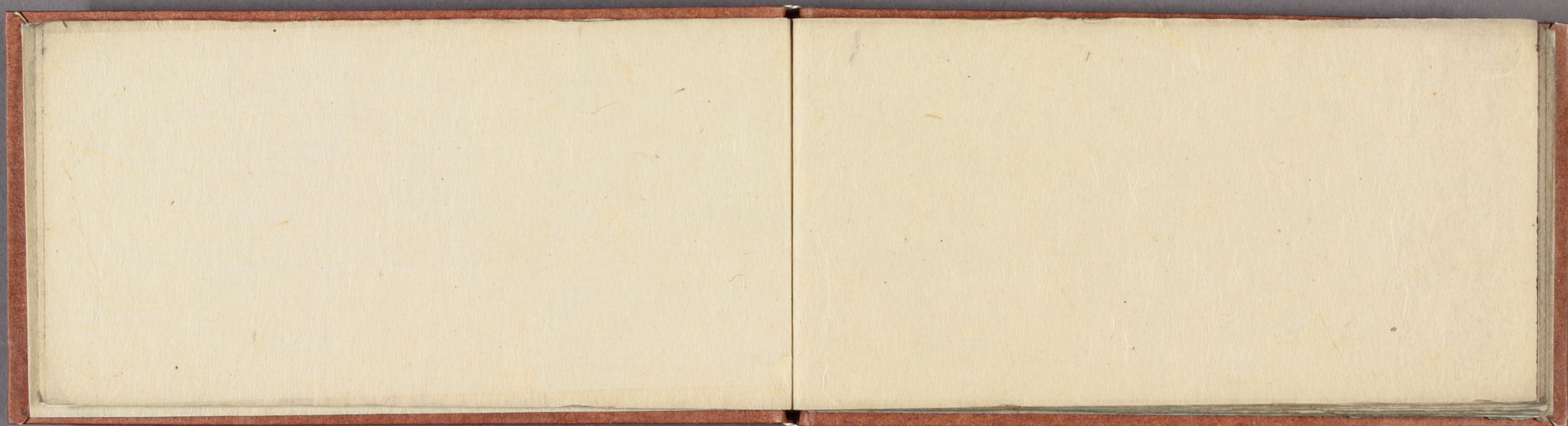
梅韵

冰蕊轻盈压翠华 清香自是出尘华

冰蕊轻盈压翠华 清香自是出尘华

乙卯

冰蕊轻盈压翠华 清香自是出尘华









淡美天饕腹足
濁石碎刻舒

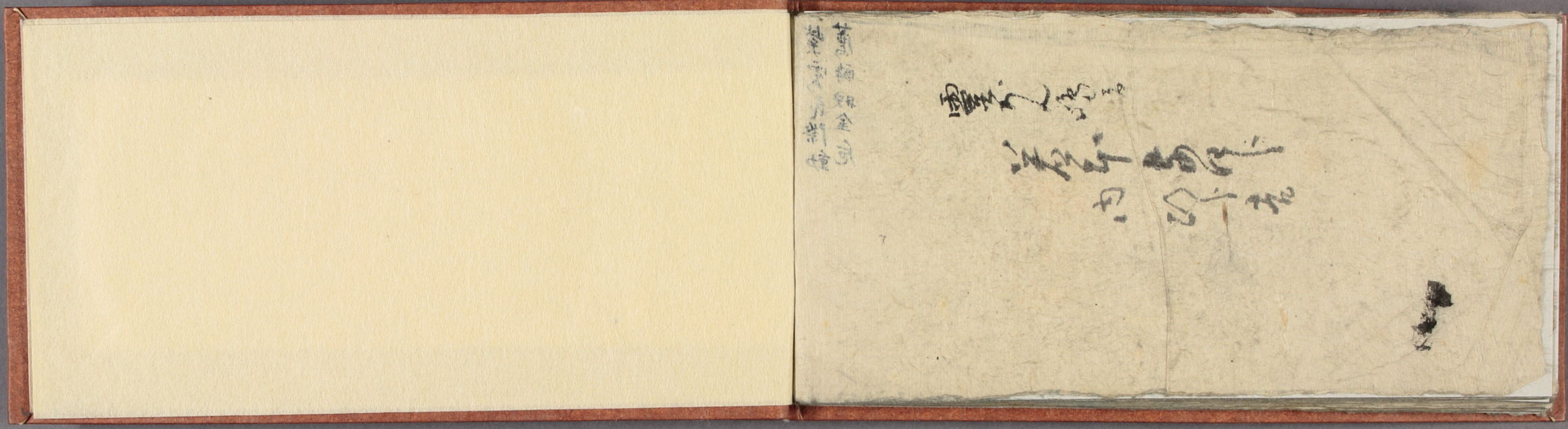
野表分香雨揭
破水浸片虛

晚木修重嶺
落寂會遠空

魚尾山行吳
少室回露吟

紫雲花際動
薦醉映金危

魚尾山行吳
少室回露吟
紫雲花際動
薦醉映金危



海
山
書
卷
一

雲
山
書
卷
一



